

平成 25 年 6 月 25 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

中国・香港株式市場の下落と「中国A株ファンド(愛称:ザ・チャイナ)」への影響について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

中国株式市場の下落と「中国A株ファンド(愛称:ザ・チャイナ)」(以下、「当ファンド」といいます。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

◆ 足許の市場動向

6月24日、中国・香港株式市場の主要株価指数は下落しました。

この主な要因としては、中国の金融市場で短期金利の上昇が続いており、金融機関の資金繰りに対する懸念が広がるなか、中国人民銀行(中央銀行)が投機的融資の抑制に向けた取り組みを維持する方針を示唆したことが考えられます。加えて、欧米の金融機関が今年の中国の経済成長率見通しを7.4%と、政府目標の7.5%を下回る水準に下方修正したことから、景気が更に減速する懸念が台頭したことも挙げられます。

この中国・香港株式市場の下落の影響により、弊社が設定・運用しております当ファンドの基準価額は次頁の通りの下落となりました。

◆ 今後の見通し

中国の短期金融市場で銀行が互いに資金をやり取りする際の代表的な指標である上海銀行間取引金利(SHIBOR)翌日物は、6月20日に13%を付けた後、急低下していますが、過去と比較して依然高い水準にあります。このため、企業や銀行が資金調達する際の金利コスト上昇が懸念され、中国の株式市場は当面ボラティリティの高い状況が続くと考えています。

ただし、短期金利の急上昇によって、一部の地方銀行の資金調達に支障が出る可能性があるものの、圧倒的なシェアを誇る四大国有銀行は潤沢な預金を抱えており、資金調達の不安に直面することはないと考えられます。加えて、今後中央銀行が景気動向や金融システム全体を配慮し、短期の市場金利を長期間高止まりしないように安定した金融政策をとるとも想定されることから、短期の市場金利が落ち着くことで、中国・香港の株式市場は市場参加者のセンチメントの改善とともに、上昇が期待されます。

以上

◆ ファンドへの影響

| ファンド名 | 平成 25 年 6 月 24 日 基準価額 (円) | 平成 25 年 6 月 25 日 基準価額 (円) | 騰落幅 (円) | 騰落率 (%) |
|----------|------------------------------------|------------------------------------|------------|------------|
| 中国A株ファンド | 6,995 | 6,593 | ▲402 | ▲5.75 |

◆ 市況情報

(小数点第3位以下四捨五入)

| | 平成 25 年 6 月 21 日 | 平成 25 年 6 月 24 日 | 騰落率(%) |
|---------|------------------|------------------|--------|
| 上海A株指数 | 2,169.68 | 2,054.62 | ▲5.30 |
| 深センA株指数 | 979.94 | 920.03 | ▲6.11 |

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、6月21日から6月24日としています。

| | 平成 25 年 6 月 21 日 | 平成 25 年 6 月 24 日 | 騰落率(%) |
|--------|------------------|------------------|--------|
| 人民元(*) | 15.89 | 15.88 | ▲0.10 |

(*)為替レートはロンドン時間午後4時のレート(WMロイターレート)

人民元は、基準価額への影響を考慮し、6月21日から6月24日としています。

出所:ブルームバーグ

※文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

※ 当資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の購入をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

【ファンドの投資リスクについて】

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて
「株価変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

【ファンドに係る費用について】

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料……購入価額に、**3.15%(税抜3.0%)以内**で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。

信託財産留保額……換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬) 毎日、ファンドの純資産総額に**年1.3755%(税抜1.31%)**の率を乗じて得た額とします。実質的にご負担いただく信託報酬率:**年2.1555%(税抜2.09%)程度**(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)

その他の費用・手数料 **【監査費用】**
毎日、ファンドの純資産総額に**年0.0084%(税抜0.008%)**の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。

【その他】

証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。

外国投資信託において、投資対象市場の投資枠確保に係る費用、株価連動証券等の発行に係る費用等がかかります。なお、ファンドの資産規模、運用状況、投資環境等の要因により、ファンドの純資産総額に対する当該費用比率が変動し、大きな費用負担となる場合があります。また、売却益に係る税金相当見込額が徴収され、ファンドが実質的にこれを負担します。

その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください

販売会社の名称等

2013年6月24日現在

| 販売会社 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 |
|-----------|-------------------------------------|---------|-------------------------|-------------------------|
| エース証券株式会社 | 金融商品 取引業者 近畿財務局長(金商) 第6号 | ○ | | |
| 新潟証券株式会社 | 金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第128号 | ○ | | |
| 丸八証券株式会社 | 金融商品 取引業者 東海財務局長(金商) 第20号 | ○ | | |

※加入協会に○印を記載しています。